

地域経済活性化秋田県商工会大会開催

平成25年11月8日、秋田ビューホテルで、来賓・商工会役職員約170名が出席し、「次代につながる 信頼の商工会」をスローガンに地域経済活性化秋田県商工会大会を開催しました。

大会では、地域を支える小規模企業への支援策の拡充に向け、小規模企業基本法の制定や、「県中小企業振興条例」において商工会の機能が十分に発揮されるよう施策を講じることなど4事項を決議し、村岡会長から関係当局並びに国会議員に要望書を伝達しました。



商工会長・役員セミナー

秋田県商工会大会に先立ち、「秋田県における事業承継の現状と課題」と題しアーセプトコンサルティング(株)代表取締役 長谷部光哉氏が講演を行いました。

講演では、昨年、テレビ番組で放送された事業承継の取り組み事例について紹介しました。

また、秋田県における事業承継の課題として、①少子高齢化など県内社会経済の課題、②後継者の選定と育成など企業内部の課題、③保証人制度や事業承継税制などの制度上の課題の3点をあげられました。事情承継を行うにあたっての留意点として、後継者の選定、マネジメントの承継、経営資産の承継の順で行うなどについて指導いただきました。

商工会全国大会が開催されました

平成25年11月21日、東京のNHKホールにおいて、「第53回商工会全国大会」が開催され、全国から約3000名、本県からは38名の商工会長等が参加しました。

本大会を小規模企業基本法制定決起大会と位置付け、法の制定に向けた署名運動中間報告分を壇上に積み上げ、本年中に100万名の署名を集める旨を国会議員等来賓や来場者に宣言するとともに、早期制定にむけて参加者全員でシュプレヒコールを行ないました。



大会決議として採択した項目は次のとおりです。

- 一、小規模企業基本法の早期制定
- 一、地域や小規模企業に対する支援策の抜本的拡充
- 一、中小・小規模企業のための税制・社会保障施策の実施
- 一、東日本大震災被災地・原発事故・電力の安定供給等に対する万全の対策
- 一、地域に根差す商工会の支援機能の更なる強化

「生あんもろこし」全国おやつランキング第3位を獲得!

全国連主催のニッポン全国物産展が11月22日からの3日間、東京都池袋で開催され、本県から10事業所が出展、優良特産品「べっぴんさん品」の展示販売をしました。

また、各県代表の47品がエントリーした「おやつランキング」では県代表の「生あんもろこし」(くら吉(有)(仙北市))が、昨年の「北あきたバター餅」の第4位に続き、全国第3位に輝きました。今後、商工会地域の特産品販路拡大のけん引役として、さらなる波及効果を期待したいものです。



秋田県知事との懇談会

平成25年12月2日、秋田ビューホテルで秋田県知事との懇談会が開催され、県からは佐竹知事をはじめ、関根産業労働部長、水澤産業政策課長、本会からは正副会長、松橋専務理事が出席しました。

はじめに、村岡会長が「国では小規模企業基本法、県では中小企業振興条例が検討されており、中小企業、とりわけ小規模企業に対する支援に力をいれていただいている。法律や条例を中身のあるものにするために、商工会はますます相談機能を強化し力を発揮していく」と挨拶しました。

続いて、商工会による企業支援の取り組みについて三平事務局長が、商工会による地域活性化の取り組みについて金子副会長(三種町商工会長)、木村副会長(河辺雄和商工会長)、近藤副会長(美郷町商工会長)がそれぞれ報告し、佐竹知事と積極的に意見交換を行ないました。



監事
鈴木 國男(東成瀬村
事務局職員同)

藤原 幸雄(涌上市)

佐藤 真(上小阿仁村)

菊地 カツ(県女性連)

佐藤 慶太(真言連)

東海林啓太(羽後町)

上坂憲一郎(ぐざわ小町)

遠藤 芳徳(平鹿中央)

高員 芳彦(天仙子)

佐藤 作内(にかほ市)

加藤 政光(湯東3町)

加藤 義光(男鹿市)

大森三郎(白神八峰)

安部 薫(藤里町)

菊池 豊(二ツ井町)

吉原 秀吉(天館北秋)

伊藤 公夫(北秋田市)

柳澤 隆次(かづの)

専務理事 松橋 彰雄(盲外)

理事 金子 芳継(三種町)

副会長 近藤 道哲(美郷町)

副会長 木村 友勝(河辺雄和)

会長 村岡 淑郎(由利本荘市)

秋田県商工会連合会

謹賀新年